

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		14-	1
事業名	下水道事業特別会計繰出金	会計	款	項	目
		一般	8	4	4
施策	4 快適なまち	課名	上下水道課		
	4-2 良好な生活環境のまちをつくる	係名	工務係		
	4-2-2 上下水道の整備				
主要施策	⑤経営安定化の推進				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	下水道施設	目的 (対象がどのような状態になっているか)	衛生的で快適な生活環境を支え河川等の水環境を水質汚濁等から守るとともに、長期的なビジョンで適切な状態で維持、管理できている。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設維持管理費・・・管渠、マンホールポンプなどの施設の維持管理 流域下水道管理費・・・汚水処理場における光熱水費、薬品費などの処理費を排水量に応じ負担 管渠整備費・・・下水道事業に係る計画策定業務、管渠整備に係る設計及び工事 流域下水道事業費・・・北勢沿岸流域下水道(北部処理区)処理施設の改修及び耐震補強工事等 地方債元金償還金・・・管渠整備費などに係る元金償還金 地方債利子償還金・・・管渠整備費などの地方債借入額に係る利子償還金 			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1	指標なし	※事業が多岐に亘り、事業費でしか指標を設定できず、また、						
2		年度により事業費が増減する可能性があるため							
3									
4									
5									
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			915,394		804,979		844,100		
財源内訳	直接事業費 A		887,194		776,779		809,300		
	うち一般財源		242,086		200,031		202,600		
人件費(千円) B			28,200		28,200		34,800		
内訳	一般職員(人・千円)		4	26,400	4	26,400	5	33,000	
	臨時職員(人・千円)		1	1,800	1	1,800	1	1,800	

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	C 削減の余地が大きい
総合評価	VI 縮小(改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	企業会計への移行にあたり、今後収益の減少及び更新コストの拡大が予想される。
②H30年度に実施した取り組み	県内市町における制度及び工事施工基準の情報収集。 宅地開発業者へ口頭で事業内容変更の可能性を示唆。	④今後の改善計画	工事の施工基準を定め、民間事業と公共事業を明確化し、投資と財源、資産更新の対応や現状と将来のコストや財源調達を平準化することが必要である。